

1 調査の概要

(1) 調査の目的

国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

喜茂別町教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

町立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導など改善に役立てる。

(2) 調査の対象及び調査内容

調査対象		調査内容
児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生全員 ・中学校2年生全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様） 握力、状態起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げ） ・質問調査（運動習慣、生活習慣等）
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 ・中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問調査（児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る学校の取組等）

(3) 調査の方式

悉 皆 調 査

(4) 調査の実施期間

令和7年4月から令和7年7月末までの期間で実施

(5) 調査結果の公表に関する留意事項

本調査結果は、実技調査8項目及び運動習慣等の質問紙調査による体力等の特定の一部分を示したものです。

また、学校教育活動は、多面的、総合的に行われるものであり、調査結果は、あくまで学校における教育活動の一側面であるので、ご留意ください。

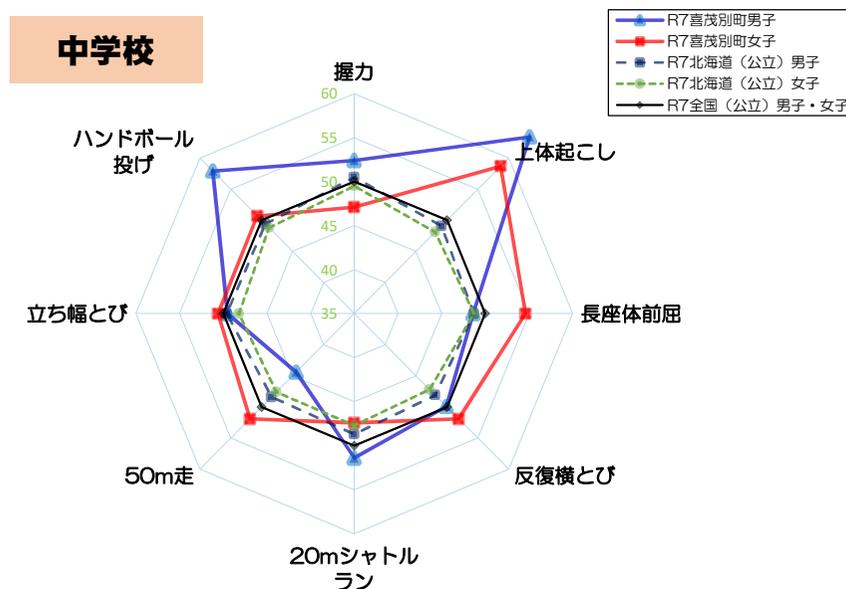
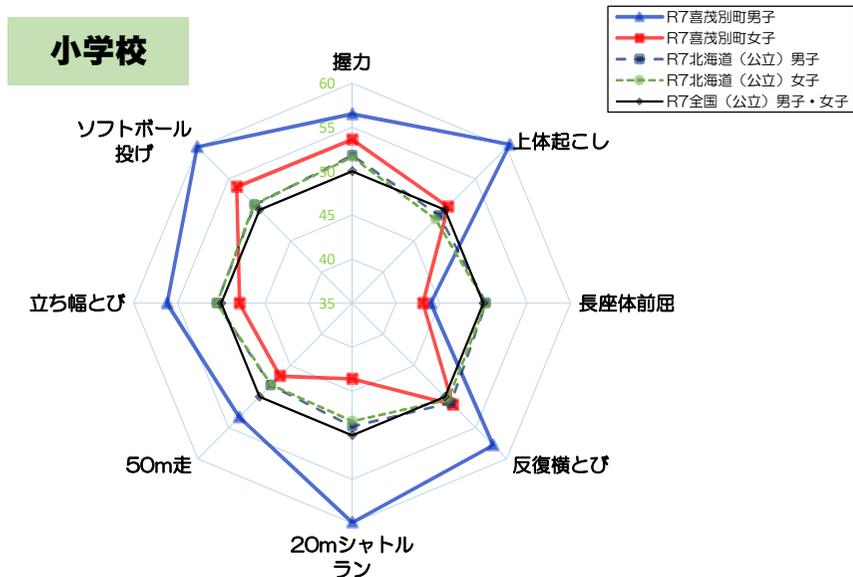
2 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 喜茂別町内の小・中学校の状況及び成果と課題について

- 実技に関する調査の状況
 - ・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
喜茂別町男子	18.50	26.00	28.50	47.50	69.00	9.10	166.50	29.50	62.00
喜茂別町女子	17.00	18.67	31.78	39.67	26.56	10.10	137.22	14.89	51.22
北海道（公立）男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
北海道（公立）女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
全国（公立）男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
全国（公立）女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
喜茂別町男子	30.75	34.50	43.50	51.50	82.33	8.52	195.75	25.75	45.33
喜茂別町女子	21.75	27.00	52.00	47.25	45.50	8.80	168.25	12.75	50.50
北海道（公立）男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
北海道（公立）女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
全国（公立）男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
全国（公立）女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示



成果	調査種目において男女間で、大きな差が出ているが、全国・全道平均を上回る種目が多くみられた。特に、男女共にソフトボール投げで全国平均を上回る結果が出ており、2年間継続してきた外部講師によるボール投げ教室の成果が表れている。
課題	男子は、対象学年の全てがスポーツに関する少年団に所属しており、多くの種目で平均値を大きく上回る一方で、女子は、少年団に加入する児童と、体を動かす習慣の少ない児童との差が大きく開いている。 男女とも、長座体前屈が苦手な傾向がここ数年みられており、柔軟性を高めるための運動を日常的に取り組んでいく必要がある。

成果	保健体育の授業に対する意欲を効果的に高めたことから、生徒の運動に対する意欲も高まり、結果的に体力合計点が男女とも全国・全道平均値を上回るにつなげたと考えられる。
課題	生徒質問紙調査との比較分析から朝食をあまり食べない生徒ほど、体力合計点が低い傾向が出ているため、家庭や地域と連携しながら、朝食摂取の重要性を伝えていく必要がある。 生徒の傾向として、柔軟性と敏捷性、全身持久力、スピードが低い傾向にあるため、体力向上に向けて、授業導入時に縄跳びを取り入れるなどの工夫をしていく必要がある。

■用語解説と説明

体力テスト種目の集計は、種目別に上限値・下限値を超えるデータを集計からはずしています。

性別不明は集計からはずしています。

体力テスト種目		単 位	体力要素	測 定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ (小)	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
	ハンドボール投げ (中)	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離
体力合計点		点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	

用 語	解 説
T得点	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

※公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

3 児童質問紙調査結果

質問	集計結果	
運動やスポーツをすることは好きですか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や習い事を含みます)に入っていますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます)	<p>男子</p>	<p>女子</p>
毎日どのくらい寝ていますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
体育の授業は楽しいですか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送れていると思いますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>

4 生徒質問紙調査結果

質問	集計結果	
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツへの様々な関わり方について、興味や関心がありますか。それぞれに「ある」、「ややある」、「あまりない」、「ない」で教えてください。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
学校の部活動や地域のクラブ活動に所属していますか。当てはまるものをすべて選んでください。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます)	<p>男子</p>	<p>女子</p>
毎日どのくらい寝ていますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
保健体育の授業は楽しいですか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>
体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。	<p>男子</p>	<p>女子</p>

小学校

【成果】

「保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気をつけた生活を送れていると思いますか。」との問いに、生活習慣を整えることへの肯定的な回答が男女合わせて90%を超え、「保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。」との問いに、肯定的な回答が男女合わせて90%となっており、学校での学びがよりよい生活習慣へのきっかけづくりとなっている。

また、「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」との問いに、肯定的な回答が男女とも100%となっており、友達との交流の中で新たな技を達成できたり、友達と学ぶことの楽しさを感じることができ、運動への意欲や向上心につながっているのではないかと考えられる。

【課題】

スポーツの少年団に所属せず、日常的に体を動かす習慣のない児童が、運動することの楽しさを感じられていないことや、運動したくても一緒にやる相手や場がないと回答しているとみられる。

運動の楽しさを感じられるような授業を展開していくことや、学校外でも子どもたちが気軽に運動に参加できる場を地域・保護者と連携しながら検討していく必要がある。また、スマホやゲームなどの端末を1日に3～4時間学習以外に使っている児童が8割となっており、時間を減らせるような取り組みを考えたり、指導を行ったりする必要がある。

中学校

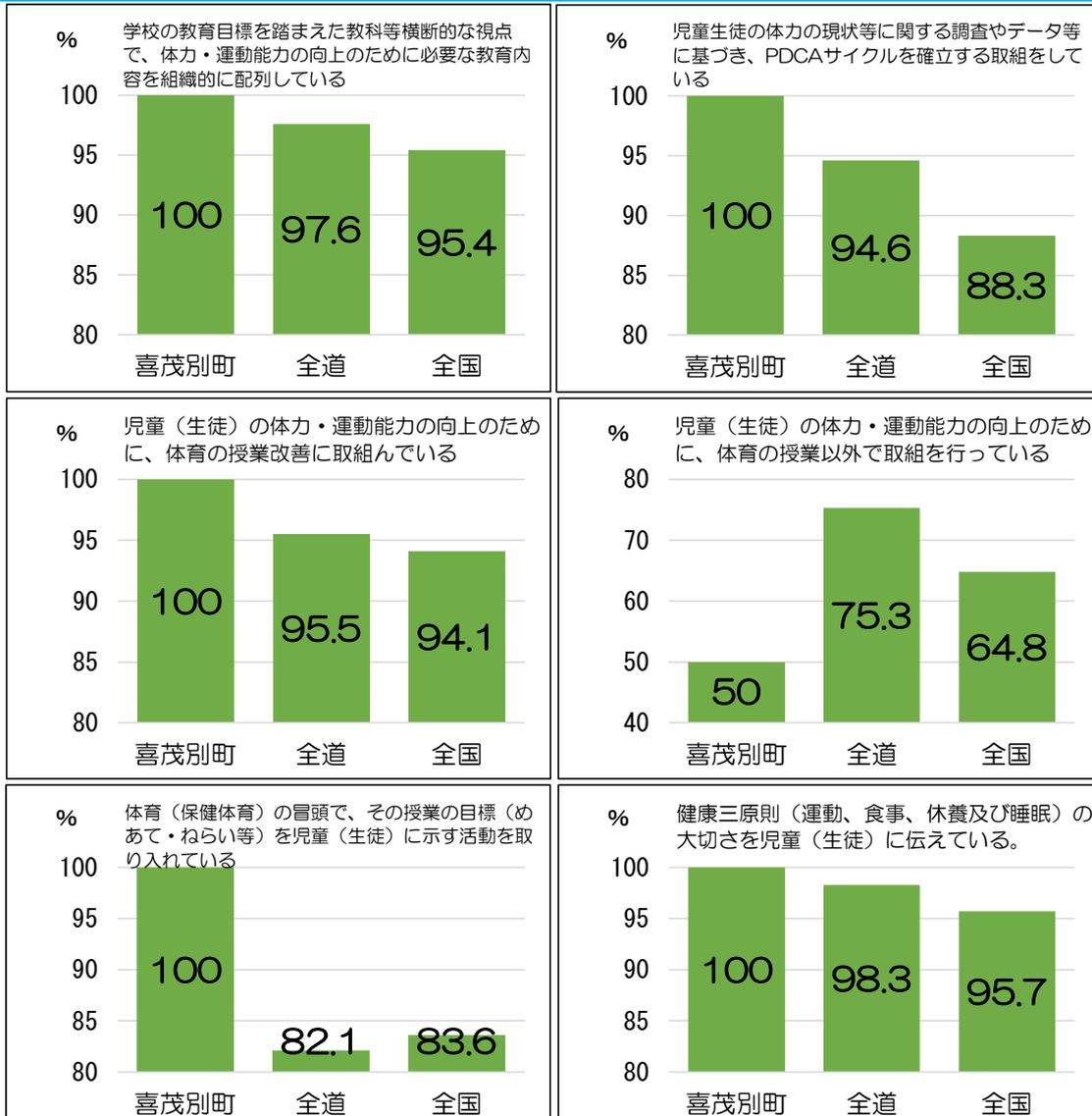
【成果】

「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」との問いに、運動そのものに興味関心が高く、体を動かすことが好きな生徒は男女合わせて約88%となっている。さらに、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツへの様々な関わり方について、興味や関心がありますか。」との問いに、肯定的な回答が男女とも100%となっており、そのことが、運動への意欲につながり、体力合計点の全国・全道平均を上回る結果に繋がったと考えられる。

【課題】

生徒質問紙調査から、ICTを効果的に活用した授業により理解度が向上する一方、学習以外でテレビやICT機器の画面を見ている時間（スクリーンタイム）が長くなっており、男女合わせて38%が2時間以上さらに38%が3時間以上（4時間未満）の視聴となっている。今後、これ以上増加させない取組を考える必要がある。

5 学校質問紙調査結果



小学校

【成果】

外部講師を招いての体育の授業を行ってきたことが、体力・運動能力の向上につながってきた。また、授業の中で児童同士で助け合う活動や、話し合う活動・ICTを取り入れてきたことで、児童の運動への意欲や向上心につながることができたのではないかと考える。

【課題】

学校以外の専門的な知識・能力のある方に学ぶことで、子どもたちの運動に関する意欲・向上心が高まると考えられる。今後、地域との連携の中で学校外の人材から学ぶ機会を増やしていくように、検討する必要がある。

中学校

【成果】

ICT機器を効果的に活用した授業を展開したことで、生徒の授業に対する意欲も高まったと考える。その結果、できなかったことができるようになったり、記録に挑戦したりと、生徒が「保健体育の授業は楽しい」と肯定的に回答する結果につながったのではないかと考える。

【課題】

体力向上に主体的に取り組むための取組において、授業改善に取り組んでいるが、全国、全道の回答と比較すると地域との連携や家庭・保護者への働きかけをもう少し行っていくことが望ましいと考える。

6 喜茂別町の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に努める。
- ・「どさんこ元気アップチャレンジ」への参加や新体力テストなど自己の体力の現状を踏まえた各学校独自の取り組みの推進